

Duo Tone/FX

Pick Up System 取扱説明書

この度は James アコースティックギターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みいただいた上、大切に保管してください。

島村楽器株式会社

〒132-0035 東京都江戸川区平井 6-37-3
www.shimamura.co.jp

本製品について

James アコースティックギターに搭載された Duo Tone/FX ピックアップシステムは、ブリッジ内部に設置したピエゾ・センサーと、ボディ内部に設置したマイク・ピックアップによる2つのサウンドをミックスして使うことで、アンプやPAシステムからより自然なアコースティックギターのサウンドを生み出すことができるアコースティックギター用のピックアップシステムです。

搭載された リバース/コーラス/ディレイ のエフェクター機能は、ボディ内に設置されたアコースティック・エフェクトユニットにより、アンプやPAシステムにつないだ時だけでなく、生で弾いた時にもその効果を楽しんでいただくことができます。

加えて、クロマチック・チューナーの機能も装備、いつでも気軽に本格的なアコースティックギターのサウンドをお楽しみいただくことができる製品です。

アンプなどにつながらない場合の使い方

■アンプなどにつながらない際にも通常のギターとしてご使用いただけます。

- 【⑦エフェクト スイッチ】を長押し(約1秒)すると【③インジケーター】が緑色に点灯し、内蔵エフェクトが使用できるようになります。
【①エフェクト・レベル ノブ】を上げていくと、コーラス/ディレイのかかり具合を設定できます。
 - ・左から中央に回していくとコーラスがかかります 中央に近づくほどかかりが強くなります
 - ・中央から右に回していくとディレイがかかります 右に近づくほどかかりが強くなります【②リバース ノブ】を上げていくと、リバースのかかり具合を設定できます。
 - ・左から右に回していくと徐々にかかり具合が強くなります【⑤マスターボリューム】を左から右に回していくと、エフェクトの音量が大きくなります。もう一度【⑦エフェクト スイッチ】を長押し(約1秒)すると【③インジケーター】が消灯し、エフェクトがかからなくなります。
- 【ご注意】【⑦エフェクト スイッチ】を押し続けるとハウリングが起きることがございます。

- 【⑩チューナー スイッチ】を長押し(約1秒)すると、内蔵チューナーが作動します。内蔵エフェクトを使用していた場合、エフェクト機能はオフになります。
 1. チューナー作動中に【⑩チューナー スイッチ】を長押し(約1秒)すると、チューナーの動作が終わります。
 2. チューナー作動中に【⑦エフェクト スイッチ】を押すと、チューナーの動作が終わり内蔵エフェクトがかかります。

アンプにつないだ場合の使い方

- ギター/アンプのボリュームを絞った状態で、ギターとアンプをシールドで接続します。
- アンプのボリュームを上げ、ギターの【⑤マスターボリューム】を少しずつ上げ、適正な音量にします。
- 【⑥マイク レベル】を少しずつ上げ、好みの音色に設定します。
- 【①エフェクト・レベル ノブ】を上げていくと、コーラス/ディレイのかかり具合を設定できます。
 - ・左から中央に回していくとコーラスがかかります 中央に近づくほどかかりが強くなります
 - ・中央から右に回していくとディレイがかかります 右に近づくほどかかりが強くなります
- 【②リバース ノブ】を上げていくと、リバースのかかり具合を設定できます。
 - ・左から右に回していくと徐々にかかり具合が強くなります
- 【⑩チューナー スイッチ】を長押し(約1秒)すると、アンプから音が出ない状態になり、内蔵チューナーが作動します。もう一度【⑩チューナー スイッチ】を長押し(約1秒)すると、チューナーの動作が終わり、アンプから音が出るようになります。

安全上のご注意

⚠ 警告

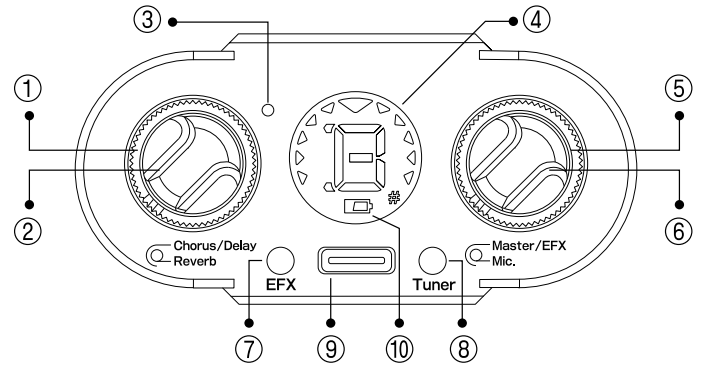
この注意事項を無視した取扱をすると、重大な事故を引き起こす可能性が予測されます。

- 次のような場合は直ちに電源を切ってください。
 - ・異物が内部に入ったとき。
 - ・製品に異常や故障が生じたとき。
- 修理が必要な時は、お買い上げの販売、最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理 / 部品交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、針金など)入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する器具の上など)での使用や保管をしない。
- 振動の多い場所での使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所での使用や保管はしない。
- 雨天時の野外など湿気の多い場所での使用や保管はしない。
- 本製品の近くに液体の入った物(水や薬品など)を置かない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。

⚠ 注意

- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビなどに接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。
- 外装のお手入れは乾いた布を使って軽く拭く。
- スイッチやツマミに必要以上の力を加えないでください。故障の原因になります。
- 外装のお手入れにベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- 本製品の充電にはUSB Type-C (5V)の充電器(別売)をご使用ください。また、充電完了後には充電器を外してください。

各部の名称と働き



- ①エフェクト・レベル ノブ
エフェクトのかかり具合を調整します。コーラス/ディレイのいずれかを使うことができます。
 - ・左から中央に回していくとコーラスがかかります 中央に近づくほどかかりが強くなります
 - ・中央から右に回していくとディレイがかかります 右に近づくほどかかりが強くなります
- ②リバース ノブ
リバースのかかり具合を調整します。左から右に回していくと、徐々にかかり具合が強くなります。
- ③インジケーター
PUシステムが使用されるときに光ります。
- ④チューナーLED
チューナー機能を使う際に使用します。
- ⑤マスターボリューム
全体のボリュームを調整します。
- ⑥マイク レベル
マイク・ピックアップの音量を調整します。
- ⑦エフェクト スイッチ
アンプなどにつないでいない際に、アコースティック・エフェクト機能のオン・オフを切り替えます。
- ⑧チューナー スイッチ
チューナー機能のオン・オフを切り替えます。
- ⑨USBポート
USB Type-C (5V)の充電器(別売・スマートフォン用のものなどをご使用いただけます)をつなぐことで、内蔵バッテリーの充電をします。
充電中:インジケーターがオレンジに点灯 充電完了:インジケーターが緑に点灯
充電時間:およそ6時間
連続使用可能時間:アンプ接続時 およそ20時間 単体使用時 およそ8時間
- ⑩バッテリーLED
内蔵電池の容量が少なくなると点灯します。充電をしてください。
*バッテリーの消耗を防ぐため、ご使用にならない際はシールドを抜いてください。
また、シールドを抜いている際、音を出さない状態がおよそ10分間続くと自動で電源が切れる仕様となっています。

【ご注意】
セッティングによってはハウリング/フィードバックが発生する場合がございます。その際には、マスターボリュームを下げてください。

チューナー機能の使い方

- 【⑩チューナー スイッチ】を長押し(約1秒)して、内蔵チューナーを作動させます。
- 図を参考に、1本ごとに弦を鳴らして各弦が正しい音程となるようにチューニングをしてください。弦を2本以上同時に鳴らすとチューナーが正しく反応しません。



① 正しく"A"にチューニングされています



② 音程が低い状態です。もう少し弦を巻き上げてください。



③ 音程が高い状態です。少し弦を緩めてください



④ チューナーLEDの右下に「#」が表示されており、半音高くなっていることを示しています。